

令和5年度国際理解ワークショップ 進行シート

令和5年 8月 18日作成

大学名：新潟県立大学タイトル：スタートラインは一緒にすべき？～誰でも挑戦できる環境の必要性～

1：本ワークショップの要旨

日本には恵まれた国だという印象を持ちがちだが、実際は社会的構造による格差が存在する。その一つが教育機会の格差である。この格差は本人の意思とは関係なく教育の機会を奪い、次世代にも繋がり社会的悪循環を生み出す。本ワークショップは日本における教育機会の格差に注目し、格差のない社会を目指すには何が必要か、様々な例を踏まえて参加者と共に考えたい。

2：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

本ワークショップを通して、日本と国外だけでなく、日本国内にも教育格差があるのかどうか考えるきっかけとなしてほしい。また、生活保護を受けている人と、普通に学校へ通っている人には平等に教育の機会が与えられているのか、両親の経済的影響は子供の学習状況に影響を与えるのか、など、具体的なところまで自分のこととして考えてもらい、教育だけでなく、だれでも自由に挑戦できる環境には何が必要か考えてもらいたい。

3：本トピックをとりあげる理由

日本と国外での教育格差については考えたことはあっても、日本国内での教育格差については考える機会はないように思い、また学生にとっても興味のあるトピックだと考えたためである。日本は比較的豊かな国であると思われる中で、格差というものが存在するという事実を知ってもらい、その解決策にはどのようなものがあるのか考えてもらいたい。

4 : 活動過程

(使用時間 : 50分 参加人数 : 37人)

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・説明・動きなど	ねらい	使用する教材・備品	予想される反応、その他注意事項
WS 前 導入 : 起 (10 分)	名前を書く WS 全体の説明 (4分) Never Have You Ever (6分) 説明 (1分) ワーク (5分)	WS の紹介 WS の目標提示 WS のルール提示 自分がしたことあってみんながしたことないエピソードを英語で話して自己開示する。	ねらい 目標を提示することによって能動的にWSに参加してもらう。 WSを円滑に進められるようにする。 いろいろな面白い自己開示を聞くことで、緊張をほぐす。	パソコン ポインター タイマー バインダー オーディオ スピーカー 進行シート 名札シール ペン メモ用紙	呼ばれたい名前を英語で書いてもらう。 全員が書き追ったから始めるため、教室に学生が来たらずぐ書いてもらう。 緊張していて言動が小さくなると思うので、ファシが積極的に場を盛り上げる。 英語のヒントを学生に見せる。わからなかったらファシと一緒に考える。

<p>展開：承 (12 分)</p>	<p>人生ゲーム (12分) 説明(2分) ワーク(10分)</p>	<p>駒を高校生に見立て、駒(学生)の設定ごとに目標を目指す。</p>	<p>ゲーム感覚で架空の人生を体験してもらうことで、楽しみながら自分事のように感じてもらう。</p>	<p>マス 駒(コイン) Pt(偽お札) さいころ</p>	<p>楽しんでもらえるのではないかと。英語が分からないところがあると思うので、チームファシがサポートをしっかりとできるようにする。</p>
<p>発展：転 (19 分)</p>	<p>人生ゲームの振り返りと社会的構造の説明(5分) 振り返り(2分) 説明(3分)</p> <p>人生ゲーム改(14分) 説明・支援作成(5分)</p>	<p>人生ゲームの振り返りをメインが行う。そして、社会的構造について確認しながら話を進める。</p> <p>説明を聞いて、低年収の両親を持つ子供でも望む将来が描けるような支援策をグループで話し合いながら考える。できる限り英語を使えたらなお良い。</p>	<p>確かに不平等があるということを知ってもらう。</p> <p>簡単な英語を使う機会を設けることと、自分たちで考える機会を設ける。</p>	<p>なし</p> <p>メモ用紙 ペン 付箋</p>	<p>学生がわからなそうだったらすぐにチームファシが気付いて、よりメインに分かりやすく説明してもらう。</p> <p>英語のフォローと支援案の起点を示す。</p>

	人生ゲーム改 (9分)	作成した支援を追加して、人生ゲームを行う。	実際にその支援が役に立つかの検証と、立った場合、解決策があることの提示。	マス 支援の付箋 駒 (コイン) Pt (偽のお札) さいころ	ファシがいっぱい盛り上げる。うまくいったら喜ぶ。
まとめ : 結 (6 分)	平等な社会を作るために (6分) 説明 (1分)	個人作業の説明			
	個人作業 (2分)	ワークショップを通して学んだこと、感じたことを個人で書く。	自分で学んだこと、気づいたことを落とし込んでもらう。	振り返り用紙 ペン	学生が集中するため、ファシは片付けをする。筆が進んでいない学生がいたら気づきを促す。
	まとめ (3分)	WS全体のまとめを目標の再確認をしながら簡単に行う。	最後に伝えたいことが何だったのかを再確認してもらう。	なし	集中が切れがちなので、メインは簡潔に話をする。
猶予 (3分)					

5：新型コロナウイルス感染症拡大防止のための工夫や留意点

学校側から希望があれば、マスク着用等の予防を行う。

準備の段階から道具等は清潔に扱う。

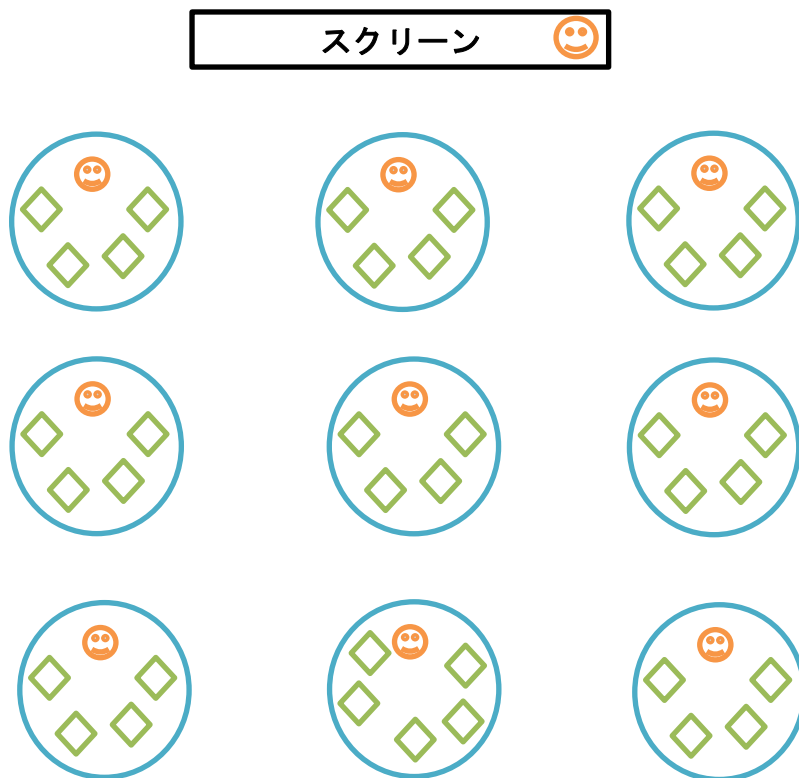
6：会場のセッティング（対面の場合のみ）

ファシリテーター（大学生）を抜いて4人グループを8つ、5人グループを1つ作る。

スクリーン近くに一人ファシリテーター（大学生）が常駐する。

：ファシリテーター

：参加者



7：使用する教材

パソコン、USB、ポインター、オーディオ機器、スピーカー、バインダー、進行シート、名札（ファシ用）、タイマー、名札シール（学生用）、クイズの問題用紙と回答用紙セット、人生ゲームのマス、駒（コイン）、Pt コイン、さいころ、模造紙、付箋、振り返り用紙

8：参考にした資料

- ・マイケル・サンデル（2021）『実力も運のうち 能力主義は正義か？』（本田由紀訳）早川書房。
- ・松岡亮二「内閣府『子どもの貧困』調査で教育格差明らかに、『緩やかな身分社会』の実態」（東洋経済オンライン）〈[内閣府「子どもの貧困」調査で教育格差明らかに、「緩やかな身分社会」の実態 龍谷大・松岡亮二、データで継続把握する意義 | 東洋経済 education×ICT \(toyokeizai.net\)](#)〉（最終閲覧日 2023 年 8 月 18 日）
- ・関西テレビ NEWS, 2022 年『学びたいのに『生活保護』世帯の子どもは大学進学できない？高校 OK も大学は受給ダメの“現実”深夜バイトで過労も…当事者「“親ガチャ”で“この世のバグ “…こんな社会でいいのか”』〈[学びたいのに『生活保護』世帯の子どもは大学進学できない？ 高校 OK も大学は受給ダメの“現実” 深夜バイトで過労も…当事者「“親ガチャ”で“この世のバグ “…こんな社会でいいのか” | 特集 | 関西テレビニュース | ニュース | 関西テレビ放送 カンテレ \(ktv.jp\)](#)〉（最終閲覧日 2023 年 8 月 18 日）

・ YAHOO! JAPAN ニュース, 日テレ NEWS, 2022 年「生活保護受給しながら大学進学 “認めない” 方針を継続」
〈[生活保護受給しながら大学進学 “認めない” 方針を継続 \(日テレ NEWS\) - Yahoo! ニュース](#)〉 (最終閲覧日
2023 年 8 月 18 日)

9 : その他

- ・ WS 内で英語を使用する箇所がある。